

講義コード	備考欄参照	授業形態	講義	事前登録の有無	備・D・Eのみ有	担当教員	開講期
科目名	キャリア開発基礎講座Ⅰ(A～G, K)					[A・K] 野条 美貴 [B・C] 所 正文 [D] 山田 竜平 [E] 勝又 あずさ [F・G] 谷口 幸一	第1期 A～C・K 第2期 D～G
履修前提条件							
備考	講義コード [A] 17Y0105101 [B] 17Y0105102 [C] 17Y0105103 [D] 17Y0105104 [E] 17Y0105105 [F] 17Y0105106 [G] 17Y0105107 [K] 17Y0105111						
授業の目的	生き方・働き方に関する基礎的知見を提示することにより、受講生諸君が楽しく今後の人生設計に対して、有益な示唆を与えることを目的とする。						
到達目標	受講生諸君が、仕事を通して自分が人生で実現したいことは何なのか、社会に対してどのような貢献をしていきたいのかといった問いに対して、活路が見出せるようになること						
授業外学修内容・授業外学修時間数	各回の授業内容の復習を十分に行うものとし、さらに中間段階で課す自らの「今後の人生をどのように構築するかについてのレポート」の作成、および、期末テストのための準備学習と合わせて、授業外に計60時間以上の学修を行うこと						
授業計画	<p>【第1回】ガイダンス～本講義の趣旨と授業の進め方</p> <p>【第2回】自己理解①～3年で会社を辞めてしまう若者たち、フリーター・ニート問題</p> <p>【第3回】自己理解②～キャリアデザイン構築、大学でのキャリア教育</p> <p>【第4回】生涯発達①～人生時計図の構造、アイデンティティの形成</p> <p>【第5回】生涯発達②～老病死観の東西比較、エイジング概念の進化《レポート課題提示》</p> <p>【第6回】日本社会と欧州社会との比較～労働観の違い、女性キャリアの違い</p> <p>【第7回】立正大学学生の就職状況〈外部講師(1)〉＝本学キャリアサポセンター課長</p> <p>【第8回】働き方を方向づける2理論～キャリアアンカー、計画された偶発性</p> <p>【第9回】人生航路の基盤3要素～健康、経済力、自らの拠りどころ(生きがい)</p> <p>【第10回】キャリアカウンセラーからの助言〈外部講師(2)〉＝本学キャリアカウンセラー</p> <p>【第11回】変貌する21世紀日本社会～東京一極集中の危機、異文化共生社会、未知の仕事への挑戦《レポート提出日》</p> <p>【第12回】幸福の心理①～幸福感の国際比較</p> <p>【第13回】幸福の心理②～幸福をもたらす仕事との関わり方</p> <p>【第14回】21世紀人の働き方～80歳まで延びる仕事期間、40歳リセットモデル</p> <p>【第15回】まとめ～人生設計支援の核心に迫る</p>						
成績評価の方法	期末テスト(50%)、レポート(30%)、取組姿勢(20%)で評価する						
フィードバックの内容							
教科書	『人生100年時代の生き方・働き方：仕事と人と関わり続ける時代』所正文(学文社)2017年						
指定図書							
参考書							
教員からのお知らせ	本講座は複数コマ設置されており、担当教員は異なるが、共通シラバスで実施される。ただし、細目に関しては、担当教員によって、多少内容の違いが生ずることもある。第5回授業時に共通レポート課題が提示され、第11回授業時に提出が求められる。なお、期末試験は定期試験期間内に実施される。筆記用具以外の持込みは認めない方式で実施する。						
オフィスアワー	<p>[野条] 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。</p> <p>[所] 木曜日4限(809研究室)</p> <p>[山田] 本授業に関する質問・相談はオフィスアワーおよびWebClassのメッセージ機能で受け付けます(利用方法はポータルサイト、ライブラリ内のマニュアル参照)。</p> <p>[勝又、谷口] 授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応する。</p>						
その他							